

# SIDE CORE展 関連イベント

## トーク「介入会議」

コロナ禍を経て急激に回復したインバウンドの背景には、東京のミステリアスで自由な都市性への魅力があります。反面、強引な都市開発は街を平坦な場所へ変え、その魅力を削り取っています。こうした状況で私たち都市の生活者達はどのように自分達の自由を獲得しうるのでしょうか？

都市空間への介入表現を行うアーティスト3組で、それぞれの最近の活動について紹介し合いながら、常に状況が変わり続ける都市の現在について話を交わします。

9月24日(火) 2024年 19:00-20:30

出演 **光岡幸一** Koichi Mitsuoka [美術家]

**トモトシ** tomotosi [映像作家]

**SIDE CORE**

場所 **ワタリウム美術館 SIDE CORE展会場**

定員 **40名 / 参加費 1,000円 (会員割引有) ※事前予約制**

**光岡幸一** | 1990年愛知県生まれ。武蔵野美術大学建築学科で学んだ後、2016年に東京藝術大学大学院油画科修了。「名前は、字がすべて左右対称になる様にと祖父がつけてくれて、読みは母が考えてくれた。(ゆきかずになる可能性もあった。)」宇多田ヒカルのPVを作りたいという、ただその一心で美大を目指し、唯一受かった建築科に入学し、いろいろあって今は美術家を名乗っている。矢野顕子が歌うみたいに、ランジャタイが漫才をするみたいに、自分も何かをつくっていききたい。一番最初に縄文土器をつくった人はどんな人だったんだろうか？」

2024年9月29日(日)まで青森公立大学 国際芸術センター青森(ACAC)にて開催されている展覧会「currents / undercurrents いま、めくるめく流れは出会って」に参加している。

Website : <http://mitsuoka.info>

Instagram : [https://www.instagram.com/mitsuoka\\_\\_mitsuo/](https://www.instagram.com/mitsuoka__mitsuo/)

**トモトシ** | 1983年山口県生まれ。国立大学法人豊橋技術科学大学建設工学課程を卒業後10年にわたって建築設計・都市計画に携わる。2014年より展覧会での発表を開始。「人の動きを変容させるアクション」をテーマに、主に映像作品を制作している。2020年より東京でトモ都市美術館を運営し、新しい都市の使い方を提案している。主な展覧会に、2019年「あいちトリエンナーレ2019」(豊田市)、2019年「有酸素ナンバ」(埼玉県立近代美術館、埼玉)、2023年「絶望的遅延計画」(TAV GALLERY、東京)、2024年「ハングリーマンション」(Token Art Center、東京)、2024年「レイクサイドスペシフィック!—夏休みの美術館観察」(市原湖畔美術館、千葉)など。

Website : <https://tomotosi.com>

Instagram : <https://www.instagram.com/tomotossi/>

X : [https://x.com/tomotosi\\_](https://x.com/tomotosi_)



光岡幸一



トモトシ courtesy of the artist

### 申込方法

ご参加希望の方は、ワタリウム美術館1F受付、または下記の申込フォームよりご予約ください。

▶ **申込フォームはこちら** <https://forms.gle/Xgzuz2ZCoLybZLbW6>

- Googleフォームからの返信を持ちましてご予約完了となります。
- 当日、ワタリウム美術館1F受付にてGoogleフォームからの返信画面をご提示いただき、参加費をお支払いください。

### ワタリウム美術館

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6 Tel:03-3402-3001

Email : [official@watarium.co.jp](mailto:official@watarium.co.jp) URL : <http://www.watarium.co.jp>



申込フォーム

**WATARI-UM**  
The Watari Museum of Contemporary Art

